

【Insectopia (インセクトピア)】とは: insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語  
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



## インバウンドの時代に、衛生は追いついているのか

訪日観光需要の回復に伴い、街や施設には再び人の流れが戻っています。その一方で、人の移動や滞在、物流の増加は、衛生環境にも新たな変化をもたらしています。観光都市に求められる衛生管理は、単なる維持管理ではなく、安心と快適性を支える「見えないインフラ」として、その役割が見直され始めています。

### 過去最多となる訪日客、その裏側で変わる衛生環境

日本政府観光局 (JNTO) によると、2025年の訪日外客数は4,268万人に達し、過去最多を更新しました。観光需要の回復は、地域経済や都市に活気をもたらす一方で、人の移動・滞在・物流の増加によって、施設運営側にも新たな課題を生み出しています。

宿泊施設では客室稼働率の上昇によるメンテナンスのタイミングの変化、交通施設では人や荷物を介した生物移動リスク、都市空間では飲食や滞留時間の増加など、衛生環境は利用状況と密接に関係しています。

### 「発生後対応」から「予防型衛生管理」へ

近年では、トコジラミ (ナンキンムシ) に関する相談件数の増加や、都市部でのネズミ相談の継続的な発生など、衛生課題への関心も高まっています。

こうした背景から、衛生管理の考え方も変化しています。従来のように問題発生後に対処するだけではなく、

- ・発生させない
- ・持ち込ませない
- ・継続的に監視する

という予防型の管理が重要視されています。

### 空港でも進む「持ち込まない・広げない」仕組み

例えば、すでに空港や港湾などの国際インフラでは標準化されています。

WHOや国際保健規則 (IHR) では、空港・港湾・国境施設に対し、蚊などの媒介生物 (ベクター) の監視・防除体制の整備が求められています。

日本でも検疫所を中心に、空港区域内で蚊やネズミの監視、発生源調査などが継続的に実施されています。

目指すのは、問題が起きてから対処することではなく、「持ち込まない・広げない」という予防衛生の徹底です。

### 衛生は「コスト」ではなく、都市の競争力になる

旅行者が施設や都市を評価する基準は、設備や立地だけではありません。

快適さ、安心感、清潔感——。

こうした目に見えにくい品質こそが、観光都市としての競争力を支える要素となります。

### シェルグループの取り組み

シェルグループでは、こうした社会や利用環境の変化を踏まえ、発生後の対処だけではなく、予防・監視・教育を含めた総合的な衛生管理の実現に取り組んでいます。

施設ごとの課題や利用状況に応じて、点検・モニタリング・リスク評価を組み合わせながら、安心して利用できる環境づくりを支援しています。

人が集まり、都市が動き続ける時代だからこそ、目に見えない衛生品質を支えることが重要です。その積み重ねが、安心して滞在できる街や施設、そして持続可能な都市環境につながると思っています。



## 現場品質を支える基礎力を育てる

- 防除作業従事者研修会を実施 -

6月、シェル商事の技術部が主体となり、入社3年未満の作業従事者を対象とした社内研修会を実施しました。

近年、衛生環境を取り巻く社会環境やお客様のニーズは大きく変化しています。建物利用者の安全・安心への意識が高まる中、防除の現場においても、施工技術だけでなく、法令やルールへの理解、適切な判断、説明責任など、より高い品質と専門性が求められるようになっていきます。

こうした背景を踏まえ、技術継承と人材育成を、組織基盤を支える重要な取り組みとして位置づけ、継続的な教育機会の整備を進めています。経験だけに頼るのではなく、基礎知識や考え方を体系的に学び、現場品質の向上につなげることを目的としています。

今回の研修では、建築物衛生法をはじめ、防除作業従事者として求められる責任と任務について講義を行いました。また、実務テーマとして、ゴキブリ、ネズミ、ハエ・コバエを対象に、それぞれの生態や発生要因、防除の基本的な考え方について学習しました。

防除業務では、単に決められた作業を行うだけではなく、生物の特性や建物環境を踏まえながら、適切な手法を選択し、再発防止につなげる視点が重要となります。そのためには、「どのように作業するか」だけでなく、「なぜその対応が必要なのか」を理解することが欠かせません。



写真：全国の若手社員が参加したオンライン研修の様子

今回はオンライン形式で実施し、参加者同士の質疑応答や意見交換も交えながら、知識の習得と理解の深化を図りました。今後も定期的な教育プログラムを通じて、技術力・品質・組織基盤の強化に取り組み、安心・安全な衛生環境づくりに貢献してまいります。

### 害蟲展season7 開催！

【東京】MATERIO base  
日程：7月11日(土)～7月30日(木)  
【大阪】箕面公園昆虫館  
日程：9月2日(水)～9月14日(月)



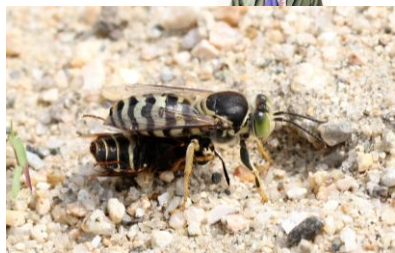
詳細は [こちら](#) ➡



## 今月のInsect



写真/解説  
中峰 空  
8thCAL技術顧問  
箕面公園昆虫館館長



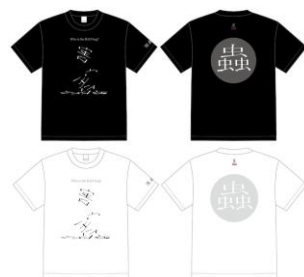
**ニッポンハナダカバチ**  
(日本鼻高蜂)  
ハチ目ギングチバチ科  
学名：Bembix niponica

環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類、33の道府県でレッドデータに記載されている日本の固有種。ハエやアブを獲物とする単独性狩蜂で、砂地に営巣する。生息に適した河川敷や砂浜の減少に伴い各地で姿を消しているが、時に公園や学校・園の砂場で多数見られることがある。

## Information

### ● 害蟲展オリジナルグッズ販売中

害蟲展season7のオリジナルグッズも販売予定！  
過去グッズもお買い求めいただけます♪  
→ご購入は [こちら](#)



### ● 害蟲展公式SNSフォローお願いします！



害蟲展公式X



ECOSYSTEM.EXHIBITION



害蟲展公式Instagram

### Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。  
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を  
配信中です。

